

「柔道整復師」とは、どんな職業かご存知ですか。接骨院や整骨院で施術をしたり、スポーツトレーナー、あるいは介護などの分野でも機能訓練指導員として活躍できる国家資格です。柔道整復術は日本の伝統療法で、骨・関節・筋などに関わる損傷を「手」と「身近にある物」を使って正常の状態に治す点が特徴です。

私は、1997年に神戸市で接骨院を開業し、患者さんに施術を行っているほか、スポーツ選手やお年寄りの健康指導もしています。

2006年からは、モンゴルでの柔道整復術の指導にも携わっています。活動のきっかけは、柔道整復師の施術を受けていたモンゴル出身の力士が「母国にも柔道整復術を広めたい」と発言したことでした。こうして、外務省や在モンゴル日本国大使館、現地唯一の国立医療科学大学、そして私の所属する日本柔道整復師会が協力して、視察などを行い、2009年からJICAの草の根技術協力事業による活動が始まりました。

これまで30回以上モンゴルを訪問していますが、協力が始まった当初は自分も現地で指導を行うようになるとは思っていませんでした。とは言え、このような活動の計画があることは知っていましたので、声が掛かったときは、二つ返事で参加を決めました。

モンゴルでは、地方を回って医師に対する指導を行ったり、首都のウランバートルで市民対象の公開セミナーや、地方医師を目指す学生向けの講義を行っています。特別な医療



モンゴル地方部の医師に骨折時の固定法を指導する根来さん

器具を必要とせず、例えば針金など、身の回りにある物を使って処置できる柔道整復術は、開発途上国で受け入れられやすく、地域の現状に即した協力が実現しています。技術を学ぶ学生たちは勉強熱心で、今後、現地で柔道整復術の普及を中心となって支える人材が育っています。

2011年3月11日に東日本大震災が発生したとき、私はちょうどモンゴルから帰国したところで、空港にいました。地震発生から数日後には被災地を視察し、被害状況を把握した上で、5月に南三陸町で施術を行いました。避難所で生活されていた方々は、生活の疲れから体の不調を訴えていました。

このような国内での災害時の対応やモンゴルでの技術指導などの際は、長ければ1カ月程度、現地に滞在することもあります。神戸と一緒に接骨院を経営している弟や家族の理解・協力の下、国内外で柔道整復師として活動に従事できることを誇りに思います。

公益社団法人 日本柔道整復師会
国際部員

NEGORO Shinya

根来
信也さん



A.

どこに行っても、現地の人々と共に課題を考え、
困難を乗り越えながら
与えられた役割を全うできる人。
機会があるならば迷わず協力しよう！